

(様式1-2) 新規評価シート

事業名		治山		路河川名等						
事業毎の通番		1	市町村名	南箕輪村	箇所名(ふりがな)		田畑(たばた)			
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-2 ① 災害に強い県づくりの推進			SDGsの関連目標					
	関連する計画や重点施策	第3期長野県強靱化計画			関連する事業プロジェクト		南箕輪村地域防災計画			
	現状と課題	当該地区は平成2年に治山事業により山腹工事が実施された斜面である。湧水に起因する土砂の流出等により既設治山施設の機能が低下し、また、施設や斜面内の枯損木の倒木被害が発生している。直下に人家が存在するため、早急な対策が必要である。								
	事業目的	既存施設の一部機能強化や湧水対策などの山腹工事を実施することにより山腹斜面を安定させ森林化を図り、斜面下流の人家などの保全を図る。								
着手年度		2025年度(令和7年度)		事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完了年度(予定)		2029年度(令和11年度)					国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容		山腹工0.30ha[法切工、法枠工、鉄筋挿入工、実播工]			200,000	100,000		80,000	20,000	
事業概要	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;">  <p>田畑</p> </div> <div style="width: 70%;"> <p>平面図</p>  </div> </div>									
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;">  <p>背面に空洞が発生し、既存施設の機能が低下している。</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>成長した立木の根が露出し、倒木の恐れがある。</p> </div> <div style="width: 35%;"> <p>標準横断面図</p>  </div> </div>									
	主な受益対象		人家16戸、用水路200m、村道200m							
事業効果	期待される効果	山腹斜面の安定が図れることにより、下流人家の安心・安全が確保される。				費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用		2.4		
	人口減少を踏まえた将来の活用見込み	山腹斜面の安定が図れることにより、下流人家の安心・安全が確保され、継続的な人口の維持・集落の保全に寄与する。								
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	南箕輪村を通じて地元区から要望があり、当該箇所は過去にも枯損木による倒木が発生しており、法面対策について地元から継続的に要望されている								
	事業説明等の経緯	近接の工事実施の地元説明会の際に当該計画箇所についても説明しており、事業の早期着手を望まれている。								
評価結果	林務部公共事業評価委員会の意見	過去に事業が実施された箇所であるが、湧水による土砂流出等により既存治山施設の機能が低下し、新たに山腹崩壊の発生が懸念されることから、斜面下部の人家等の保全のため既存治山施設の機能強化や山腹崩壊の抑止対策を実施する必要がある。						妥当性評価※	優先度評価※	
	長野県公共事業評価委員会の意見	林務部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。						○	3.7	
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	県の評価案が妥当	評価の決定	事業着手				

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)

事業名		治山		路河川名等						
事業毎の通番		2	市町村名	南木曾町	箇所名(ふりがな)	下り谷(くだりたに)				
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-2 ① 災害に強い県づくりの推進			SDGsの関連目標					
	関連する計画や重点施策	第3期長野県強靱化計画			関連する事業プロジェクト	南木曾町地域防災計画				
	現状と課題	当該地区では令和5年7月豪雨により山腹斜面の表層土が移動し、近接する町道中山道が被災した。町道中山道の一部は史跡として文化財に登録され、現在は妻籠宿から馬籠宿への観光ルートとして地域の観光業にも寄与している。次期降雨により山腹斜面の変状が進むと大規模な山腹崩壊が発生し、近接する人家・町道中山道に被害を及ぼす危険性が高いことから、山腹工を施工し、地域住民及び観光客等の安全・安心の確保を図る。								
	事業目的	山腹工を実施することにより山腹斜面を安定させ森林化を図り、斜面直上の人家・町道中山道の保全を図る。								
着手年度	2025年度(令和7年度)	事業期間	2年間		事業費(千円)	財源内訳(千円)				
完了年度(予定)	2026年度(令和8年度)					国庫	その他	県債	一般財源	
全体事業内容	山腹工0.10ha[補強土工]				138,000	69,000		62,000	7,000	
事業概要	位置図					平面図				
	林内に段差や亀裂が発生している		林内に段差や亀裂が発生している			標準横断面図				
主な受益対象	人家4戸、町道110m、県道370m、1級河川男埴川									
期待される効果	山腹斜面の安定が図れることにより、近接する人家・町道の安心・安全が確保される。				費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用	2.5				
人口減少を踏まえた将来の活用見込み	山腹斜面の安定が図れることにより、近接する人家の安心・安全が確保されること、町道中山道を維持することにより観光客の誘致が図れることから、継続的な人口の維持・集落の保全に寄与する。									
地域からの要望経緯及び地域の関わり	町道中山道の被災後、近接する人家や町道中山道の保全の観点から南木曾町を通じて地元区から継続的に要望がある。									
事業説明等の経緯	当該計画箇所について地元説明会を開催し対策について説明しており、事業の早期着手を望まれている。									
評価結果	所管課の意見	当該地は令和5年7月豪雨により斜面に変状が発生したものであり、今後の降雨により表層崩壊が発生し直上の人家・町道や下部の県道まで被害が及ぶ恐れがあることから、対策工を実施する必要がある、事業着手は妥当と判断する。						妥当性評価※	優先度評価※	
	コンプライアンス・行政経営課の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。						○	3.5	
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—		評価の決定	事業着手			

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)